

取扱説明書

スフェロイド培養系

ヒト腎臓近位尿細管上皮細胞

3D-RPTEC

はじめに

このたびは、”3D-RPTEC”をお買い上げいただきありがとうございます。本製品は、お手元に届いてすぐに使用可能なスフェロイド培養系のヒト腎臓近位尿細管上皮細胞です。ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みになった上で、お取り扱いいただけますようお願いいたします。

目次

1. 本製品(3D-RPTEC)の特徴	- 3 -
2. 梱包内容, 各製品の名称とお取り扱い方法	- 3 -
2-1. 開梱方法	- 3 -
2-2. 梱包内容	- 4 -
2-3. 受け取り後の取り扱い方法	- 5 -
2-4. 返送方法	- 5 -
3. 培養方法	- 6 -
4. 注意事項	- 8 -
5. 問い合わせ先	- 8 -

1. 本製品(3D-RPTEC)の特徴

- ヒト腎臓に近い薬物トランスポーターを発現しております。
- 96 ウェルプレート内に播種した状態でお届けしますので、納品後すぐにご使用いただけます。
- 長期間培養でも安定的にトランスポーターが発現していることを確認しております。
- 常温で輸送を行っても製品の品質に問題がないことを確認しております。

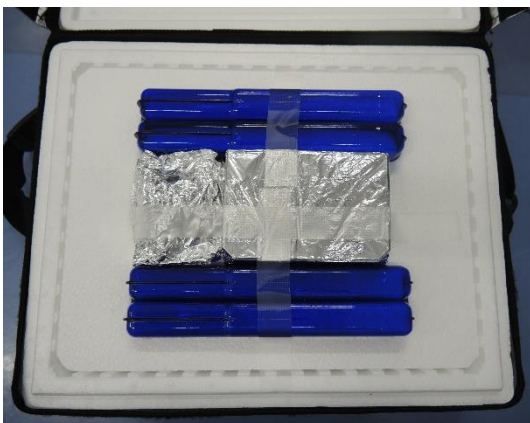
2. 梱包内容, 各製品の名称とお取り扱い方法

2-1. 開梱方法

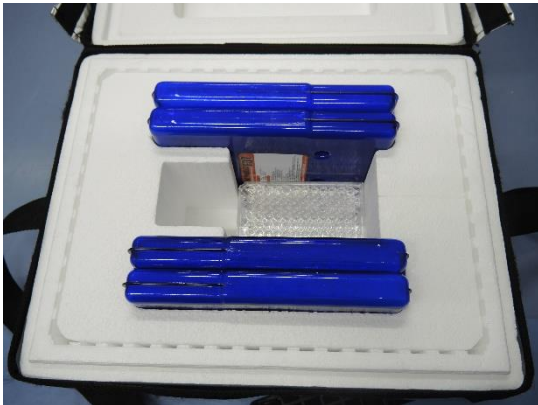
本製品は、細胞が入った 96 ウェルプレートを常温下で輸送し、培地は冷蔵下で輸送いたします。常温下で送付した細胞製品の到着後は直ちに下記のように開梱し、細胞が入った 96 ウェルプレートを取り出してください。



① 到着したら、ただちに破損や上下逆ではないか等の外観の異常についてご確認の上、開梱下さい。



② 中身に関しても破損などがなければご確認後、緩衝材を取り除いてください。



③ 細胞培養 96 ウェルプレートを取り出してください。

製品以外に同梱していた物品に関しましては、お手数ですがそのままご返送ください (2-4 参照)。

2-2. 梱包内容

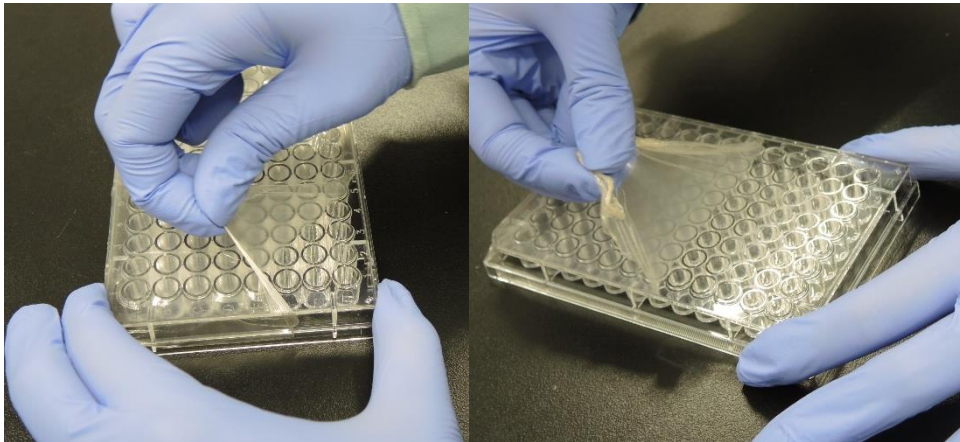
以下の製品をそれぞれ室温と冷蔵で別送しておりますので、ご確認ください。商品到着後はまず、製品に**破損**や培地の**液漏れ**がないかご確認ください。また、プレート内の細胞につきましては、96 ウェル中 **90 ウェル以上**あることを保証しております。万が一不良や細胞が90 ウェルに満たない場合等がございましたら、大変お手数ですが、5 項の問い合わせ先までご連絡をお願いします。

製品名	Cat. No.	規格/容量	保管方法	輸送方法
3D-RPTEC 細胞培地セット	NCP01SP	細胞, 培地のセット	—	—
3D-RPTEC	NCP02RP	V 底 低接着 96 ウェルプレート	CO ₂ インキュベーター (37 °C, 5% CO ₂)	室温
3D-RPTEC 専用培地	NCP03CM	100 mL	冷蔵 (2~8 °C)	冷蔵

2-3. 受け取り後の取り扱い方法

細胞培養 96 ウェルプレート：

到着後，細胞の状態を確認し，すみやかにプレートについているシールを安全キャビネット内で下図のように剥がし，インキュベーター内で培養を開始してください。



端からシールを剥がし，一気にすべて剥がしてください。

培地交換はインキュベーター内にて培養を開始した翌日に実施し，その後は 2～3 日に 1 度の頻度で培地交換をしてください。詳しくは下記（3. 培養方法）を参照ください。細胞は，弊社内で培養開始後 30 日まで安定して培養できることを確認しておりますが，納品後はできるだけお早めにご使用ください。

専用培地：

培地は到着後，冷蔵（2～8℃）で保存し，ご使用前に必要な量を分注し恒温槽で 37℃に温めてご使用ください。使用期限は納品後 2 週間になりますが，開封後はできるだけ早めにご使用ください。

2-4. 返送方法

3D-RPTEC と専用培地を取り出した後，輸送容器の表面の封筒に入れてある送り状（着払い伝票）をご確認ください。送り状にご担当者様の名前を記載し，輸送容器の表面に入れて輸送容器ごとそのままご返送ください（送り状は直接貼らずにケースに入れて見えるようにして返送をお願いします）。

3. 培養方法

ここでは、本製品の培養方法の一例をお示しします。

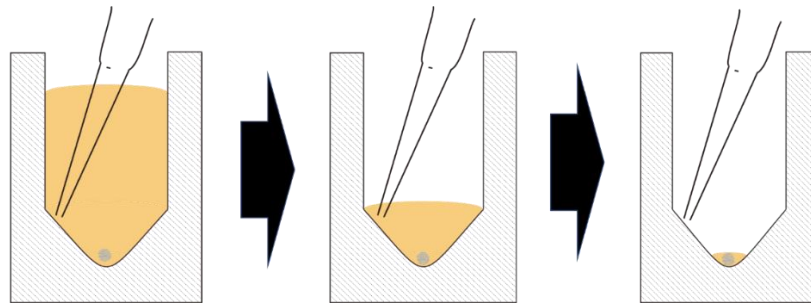
【準備するもの】

- 安全キャビネット
- ウォーターバス
- CO₂ インキュベーター (37 °C, 5% CO₂)
- 専用培地

【方法】

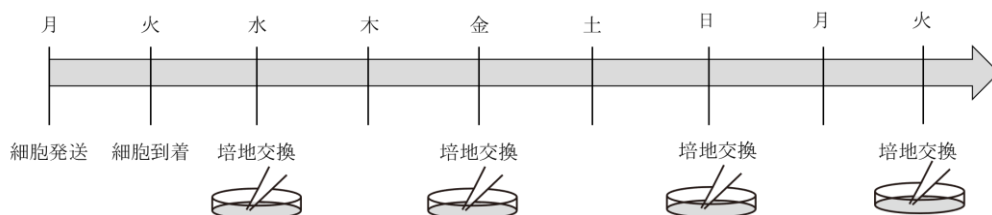
操作は全て、安全キャビネット内にて行ってください。

- ① 専用培地をご使用分のみ 15mL チューブなどに分取し、37°Cのウォーターバスで温めてください（培地は加温を繰り返さないように保管して下さい）。
- ② 培地は下記図のように、アスピレーターなどでV底の途中にチューブを当て、培地を抜き取ってください。底面までチップを下すと、細胞を吸引してしまう恐れがあります。なお、アスピレーターは吸引部の先端がP2チップのように口径の小さいものをご利用することを推奨しております。

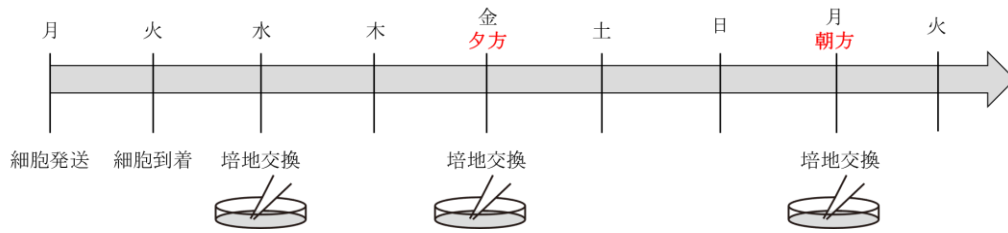


- ③ 培地をそれぞれのウェルに 100 μL ずつ追加してください。
- ④ 培地交換は 2~3 日に一度実施してください。下記に培地交換のスケジュール例をお示しします。土日に培地交換をしない場合は、金曜夕方に培地交換して月曜朝に培地交換することを推奨しております。

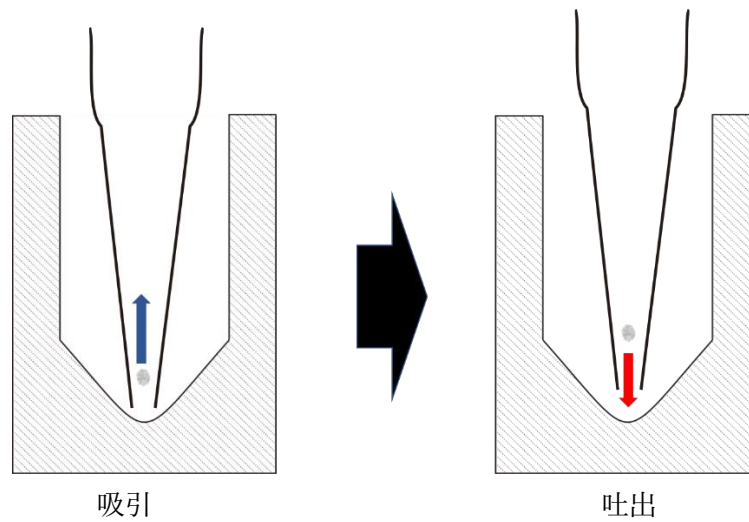
土日に培地交換をするスケジュール例



土日に培地交換をしないスケジュール例



⑤ 細胞の紛失があった場合、下図のようにウェル底にチップ先端を付け、まっすぐ培地とともに細胞を吸引して移動するウェルにゆっくりと吐出してください。細胞を傷付けないように P1000 チップまたは P200 広口チップの使用を推奨しております。



4. 注意事項

- 本製品は研究用以外の目的で使用しないでください。
- 本製品を治療・診断目的には使用しないでください。
- 本品を当社からの許可なしに第三者への販売や商業目的に使用することを禁じます。
- 本製品の本来の使い方以外で生じた欠陥によるいかなる事故や損害についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- ご使用後は、適切な処理にて廃棄をお願いします。

5. 問い合わせ先

日機装株式会社
創薬研究用ヒト腎細胞お問い合わせアドレス
Mail: 3D-RPTEC@nikkiso.co.jp